

令和3年度 沖縄県振興審議会 第4回総合部会 議事要旨

日時：令和3年9月7日(火) 14:00～16:39

場所：沖縄県市町村自治会館第5・第6会議室

議事1 第1～3回総合部会意見への対応方針について

○

議事2 調査審議（県土のグランドデザインと圏域別展開）

- 宮古圏域の観光客については、国内客、外国人客それぞれ増加しているため、外国人客に限らない国内客を含めた表現にしてはどうか。
- 宮古圏域の観光について、現段階においては、観光客の適正利用に係るルール作りより先に、受入体制の整備が課題ではないか。適正利用に係るルール作りは、持続可能な観光地づくりに含まれるのではないか。
- 199頁18行目、北部圏域については、北部振興事業と記載を合わせ、産業振興及び定住条件の整備を分けて記載してはどうか。
- 188頁16行目、「アジアに近い本県は『フロンティア』～潜在可能性が評価されている」はどこに誰が評価されているのか不明確であるため、「潜在可能性がある」と断定してはどうか。
- 199頁17行目、北部圏域において、宮古圏域と同様に、交流人口や関係人口拡大の取組を記載してはどうか。
- 214頁の南部圏域に関する記載の中に、首里城公園や首里城焼失からの復興に関する内容を盛り込んでどうか。
- 188頁8行目、「環境を保全し、持続可能な発展により生活の質を向上させ」という表現に跡地利用の観点を含めるため、「県土構造の再編とともに」という加筆してはどうか。
- 188頁11行目、新たな拠点都市の形成について、社会基盤の整備に関する記載のみでなく、昨今問題になっている子どもの貧困やヤングケアラー、離島出身学生の教育環境や進学確保、経済格差の解消を目指す必要があるため、教育や医療の機会均等や市民福利に関する内容を加筆してはどうか。
- 北部圏域について、3つの高等教育機関があるが、過疎化及び高齢化が進

行していることは非常に残念である。【展開の基本方向】に学生が卒業後においても北部に定着化するような視点を盛り込んではどうか。

- 198 頁において、自然環境の保全について森林や世界遺産、文化の記載があるが、海に関する記載がない。辺野古の問題もあるため、海について記載してはどうか。
- 199 頁の北部医療の展開の基本方向において、施設整備に限らず、ICT を活用した細やかな医療の提供について加筆してはどうか。
- 199 頁9行目、「名護以北」の高齢化とあるが、名護を含むのか。
- 沖縄全体においては、失業率が高く、働く場所がないという印象があるが、北部の企業の方々からは人手不足の声が届いている。「雇用機会の創出」のみが必要ではなく、「人手不足に悩む企業への人材供給」などの何か人手不足が分かる記載を追記してはどうか。
- 北部圏域において、琉球大学が取り組んでいるように、若者の大学進学を北部の活性化につなげる展開の方向を追記してはどうか。
- 188 頁において、本県が何のフロンティアで何の潜在可能性があるのか明記してはどうか。
- 188 頁において、「人口減少局面に転じた中、アジアに近い本県は」との記載について、内容のつながりと、誰から「評価されている」のか分かりやすい記載にしてはどうか。
- 「県土のランドデザインと圏域別展開」において、各圏域別の特徴を生かしつつ、県土全体がどういう風に見えるか、どういう風に見せたいのか分かりやすく記載してはどうか。
- 市街化調整区域だとできないなどの課題について、どういう方向で解決する予定か等記載してはどうか。
- コロナ収束後、那覇市において以前同様にオーバーツーリズムの問題が出てくる可能性があるため、観光客を那覇空港中心ではなく、宮古や八重山に誘導する形で、那覇への過度の集中を分散させる視点を盛り込んではどうか。

議事3 調査審議（固有課題克服のための行財政システムの強化・拡充及び政策金融の活用）（計画の効果的な推進）

- 沖縄公庫の存在は非常に重要なため、新型コロナウイルス感染症対策に係る融資等の金融支援の役割について追加し、強調した記載にしてはどうか。

- 187 頁において、自主財源が脆弱であるという表現を強調するのではなく、財政控除の継続などという言葉に置き換え、従来の振興計画においても政策的な展開を図ってきたが、状態が続いているという表現がよいのではないか。
- 238 頁において、10 年前の計画との違いはSDGsを意識した記載になっている点であるため、体系的な整備においてもSDGsとの関係性を盛り込んでどうか。
- 185 頁 27～29 行目において、「不利性」が複数回出てくるが、何を意味するのか明示してはどうか。4 つの特殊事情を記載した方がいいのではないか。
- 「不利性」については、離島地域などの特殊事情だけでなく、基地の存在についても加筆してはどうか。
- 187 頁 12 行目において、産業の振興後に「地域内産業連関を形成する」などを加筆してはどうか。
- 全国一律の制度ではカバーできない沖縄の特殊事情や一括計上が必要な理由を記載し、制度そのものの仕組みや存続させる理屈を工夫してはどうか。
- 187 頁において、財政基盤が不安定なのは日本全体の課題であり、原因は社会保障関係費の自然増であり、全く触れないのは不自然であるため、「社会保障費の適正化」などの文言を盛り込んでどうか。
- 187 頁 15 行目において、本県は全国最下位の収入額であり、県内企業は行政に頼っている状況である中、10 年後においてPFIは可能なのか。また、SIBは外資や県外の大企業を想定しているのかどうか。PPPのみにとどめた記載でもいいのではないか。

議事 4 調査審議（他部会から申し送りされた意見について）

○

議事 5 調査審議（調査審議結果の中間とりまとめ）

○

以上